



# 平成25年度 卒業式のご案内

日時： 平成26年3月7日（金）

会場： グランシップ（静岡市駿河区池田79-4）

※JR 東静岡駅より徒歩5分、車でお越しの方は有料駐車場をご利用下さい

式典 9:50~12:00 11階会議ホール

懇親会 12:30~14:30 10階会議室

（懇親会の会費はお一人様3000円となります）



※卒業生の経費支弁者、フレンドシップファミリーの方々には、卒業式の招待状をお送りします。同封の出欠表の返信をお願い致します。

※学校支援者の方々に、懇親会にご出席下さる方は学校までご連絡下さい。

（電話番号 054-284-8383）

卒業式まで残り1ヵ月となりました。ここ数年、この時期になるとあの東日本大震災のことを思い出します。あの日はちょうど、国際ことば学院外国語専門学校の卒業式の前日で、学生と教職員はリハールに出払って、留守番で残っていた学内はガランとしていたのが妙に印象に残っています。かつて経験したことのない長い揺れから、ただならぬ事態が起きているのではという得も言われぬ不安に襲われましたが、まさかあれほどの犠牲が出ているとは予想だにしませんでした。

今年の卒業生が来日したのはその翌年でしたが、彼らの来日が、あの震災から日も浅い、伝え聞く被災地の惨状に不安を抱えての決断だったであろうことを思うと、無事に卒業を迎えられることに、万感の思いを禁じ得ません。

昨年の大みそか、紅白歌合戦で紅組司会者の綾瀬はるかさんが、胸を詰ませながらも、被災者への溢れる想いを込めて歌った「花は咲く」。境遇こそ違え、遠い異国の地で、不安と寂しさに打ち勝って、今、新たなステップを踏み出そうとする彼らに、この歌を贈りたいと思います。

皆様も、旅立つ彼らに、心からのエールを送っていただきたいと思います。（坂本）

# 静岡市の街をきれいに～ごみの出し方編～



1月23日・30日に全クラスを対象に静岡市役所の収集業務課沼上センターの方にゴミの出し方について指導していただきました。

1年生は、ゴミの出し方の基本。燃えるごみ・ビンカンの捨て方について、また粗大ごみ・不燃ごみ・リサイクルのごみについては簡単に教えていただきました。学生たちの出身国では、ごみを細かく分別したり時間通りに出す習慣が少ないため、静岡市のゴミの出し方には慣れない事が多いです。話が始まってすぐは難しそうな顔をしていた学生たちですが、沼上センターの方が作成してくださった写真でのゴミの正しい出し方、正しくない捨て方の説明がわかりやすく、終わった時には「なぜゴミを捨てる時は静岡市が指定したマークのあるゴミ袋じゃないといけないのですか？」と質問も飛ぶくらい色々な発見ができた1時間になりました。

2年生は応用編。昨年教えていただいた基本に加えて、粗大ごみ・不燃ごみ・鉄くずの分別・について詳しく教えていただきました。2年生は卒業後、引越しを予定している学生も多く、「布団はどのように捨てたらいいですか。」「ベッドの木の部分はいつ捨てればいいですか。」「古紙回収の場所はどこですか。」など、実用的な質問が多く真剣に覚えようと聞いていました。今はゴミのことで注意をされたり教わる事が多い学生たちですが、卒業してからは近所の皆さんと協力して自分の住む街をきれいに保つよう心掛けて生活をしてもらいたいです。(川村)



## ゴミ出しの三大ルール

- 1、決められた場所に出す
- 2、決められた曜日・時間に出す
- 3、静岡市のマークの付いているゴミ袋にゴミを分別して出す。

# 漢字検定

本学院では月に2回校内で漢字検定を実施しています。準10級からスタートし、最終ゴールは名人問題、四字熟語を含めて2000字以上の漢字を勉強しています。

一年生は主に漢字の教科書を用いながら各クラス漢字の授業をし、2年生は各自で漢字検定の勉強をして級から段へとコマを進めています。漢字は難しいと苦手意識をもつ学生もいますが、日本で生活していく上で漢字を読んだり書いたりすることは必要不可欠なことです。今回は、漢字の勉強に奮闘している、インドネシア出身のリアンさん(2年生)とインド出身のモーピアさん(1年生)にインタビューをしました。

## 継続は力なり

**Q1、漢字はどのように勉強をしていますか？**

**リアン：**繰り返し書いて勉強します。毎日2時間くらい練習をしています。漢字テストの時は、プリントをもらって先生にチェックしてもらってから3・4回は繰り返し練習します。

**モーピア：**練習する中で、難しい漢字は用紙に書いて毎日見て覚えられるように自分の部屋の壁に貼っています。



リアンさん



モーピアさん

**Q2、なぜ漢字の勉強は大切だと思いますか？**

**リアン：**日本に留学する前から漢字の勉強は必要だと思っていました。インドネシアの日系企業で3カ月間翻訳の仕事に携わっていた時、日本から来るメールは漢字だらけで翻訳するのに本当に苦労しました。また、上級の教科書は漢字が多く、読めない教科書の内容がわかりません。大学に進学しても教科書にはたくさん難しい漢字が出てくるので漢字の勉強はとても大切です。

**モーピア：**日常生活にたくさん漢字がでできます。スーパーで買い物する時、「豚肉」「牛肉」などパッケージは漢字表記なので読めないといけません。また、いい仕事に就くためにも漢字の勉強は必要です。

**Q3、読み書きはどちらが得意・苦手ですか？**

**リアン：**読みのテストの方が苦手です。例えば「発達」など小さい「つ」が入る漢字の読みや、弟を「おとおと」と書いて発音する時と書く時では異なる漢字の読みは間違いやすいです。

**モーピア：**読みは大丈夫ですが、書きのテストは苦手です。漢字には縦・横・はらい・はねなど書き順がありとても複雑で書くのは大変です。

**Q4、漢字テストで苦労したこと・していることは何ですか？**

**リアン：**繰り返し練習をしないと覚えられないので時間がかかります。一番苦労したのは十段です。中々合格できなくて10回チャレンジしました。途中であきらめそうになり、11回目で合格した時はとても嬉しかったです。おかげで、ファイナルの名人は、一発合格をしました。

**モーピア：**同じ漢字でも音読み・訓読みがあるので覚えるのがとても大変です。また、意味は何か調べてたくさん練習をします。8級までは順調に合格しましたが、7級のテストは合格するのに時間がかかりました。

**Q5、漢字検定を頑張る後輩にアドバイスを一言**

**リアン：**できるだけ1年生の時にしっかり勉強すれば、2年生になってクラスの授業は困らないです。教科書は漢字だらけです。頑張ってください。

**Q6、今後の目標をどうぞ！！**

**モーピア：**1年生のうちに4級までは頑張って合格したいです。2年生になって、5段までは必ず制覇したいです。

## Aクラス楊嘉偉さん小論文コンテストで優秀賞受賞

野村総合研究所主催の「NRI 学生小論文コンテスト 2013」において、楊さんが留学生の部（応募論文 58 本）の優秀賞を受賞し、昨年末、東京で行われた論文発表会、表彰式に参加しました。今年度の審査員はジャーナリストの池上彰氏ほかが務め、テーマは「あなたが考える“わくわく社会”」でした。楊さんの小論文は「多民族、多文化共生社会づくり—個人のわくわくから共同のわくわくへ」というタイトルです。受賞の様子、受賞論文などが、野村総合研究所のウェブサイトの下記のページに掲載されています。ぜひご覧ください。  
<http://www.nri.com/jp/event/contest/result/index.html>

### <楊さんのコメント>

論文を完成させるのは大変でしたが、この論文を通して、多くの体験をして、いろいろな人と知り合うことができました。みんなも「挑戦」という精神を忘れず頑張ってください。

### 元理事、鈴木健弁護士ご逝去 ご冥福をお祈りします

かねてより病氣療養中の、元理事、鈴木健弁護士が、ご逝去されました。鈴木理事には、学校法人設立の 2001 年より 2008 年まで、本学院理事を引き受けてくださり、学校運営への多くの知恵と貴重なご意見を出していただきました。

2007 年 12 月に、名古屋入国管理局より、学校管理不十分としてお叱りを受けたときには、正月 7 日にもかかわらず、名古屋まで同行していただき、事態を上手く収めてくださったことは忘れられない思い出です。

衷心よりご冥福をお祈りいたします。

学校法人国際ことば学院 理事長 末續 晨一郎



### ご寄付ありがとうございました。

浅井様 電子レンジ  
廣田様 こたつテーブル  
高塚様 炊飯器・キッチン用品  
学生たちの生活のために使用いたします。



### 編集後記

年が明けたと思えば、もうすぐ卒業式。この 2 年間の留学生活で悔しいことも嬉しいこともたくさん経験して、日本語のレベルはもちろん学生自身が一回りも二回りも大きく成長したと思います。「今日」という同じ日は二度と訪れません。卒業の日までの時間を大切に過ごして、晴れて 3 月 7 日を迎えてほしいです。（長島）